脇坂家龍野入封350年記念　龍野歴史文化資料館企画展

老中脇坂安董と朝鮮通信使

2022年 5月28日(土)～7月3日(日)

写真：朝鮮通信使行列図(八千荘コレクション)／朝鮮使節礼曹江之返簡控　文化8(1811)年(館蔵)／封書貼交屏風(館蔵)

開館時間 | 9時～17時(入館は16時30分まで)
休 館 日 | 月曜日
入 館 料 | 一般 200円／65歳以上・学生 100円
＊「ひょうごっ子 ココロンカード」提示で無料

関連イベント

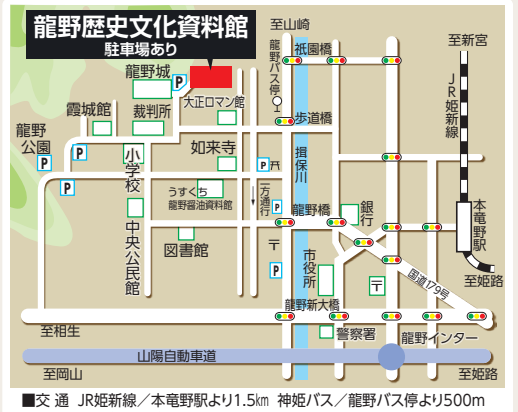
1．ミュージアムトーク
日時：6月26日(日)　14時～
講師：柏山泰訓氏(嶋屋友の会事務局長)
内容：たつのと朝鮮通信使
定員：20名(事前申込要・先着順)

2．ギャラリートーク
日時：6月12日(日)　14時～
内容：担当学芸員による展示解説

＊1、2いずれも要入館料

令和4年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

問い合わせ 申込み先
たつの市立龍野歴史文化資料館
〒679-4179　兵庫県たつの市龍野町上霞城128-3
TEL：0791(63)0907　FAX：0791(63)0998
Email：rekishi@city.tatsuno.lg.jp



■交 通　JR姫新線／本竜野駅より1.5㎞　神姫バス／龍野バス停より500m
山陽自動車道／龍野インターより2.7㎞　●駐車場15台あり

脇坂家龍野入封350年記念
龍野歴史文化資料館企画展

老中脇坂安董と朝鮮通信使

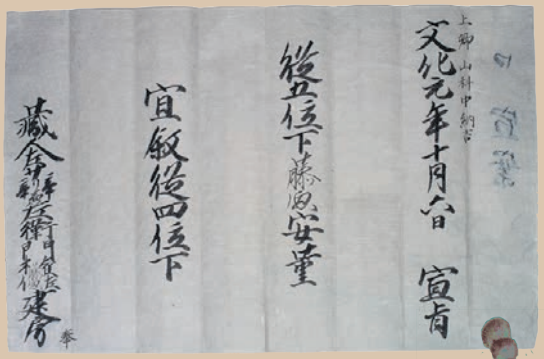
脇坂家歴代藩主には、賤ヶ岳七本槍の一人として知られる初代脇坂安治、赤穂事件の時に赤穂城の請取を担った4代安照など歴史上著名な藩主がいます。

10代藩主の安董もその一人です。明和5(1768)年に江戸で生まれ、幕府の要職である奏者番や寺社奉行を兼ね、文化元(1804)年に従四位下に昇進。同時に韓使来聘の使いを命じられています。

文化10年に奏者番と寺社奉行を辞した安董でしたが、文政12(1829)年に再び奏者番・寺社奉行に任じられました。

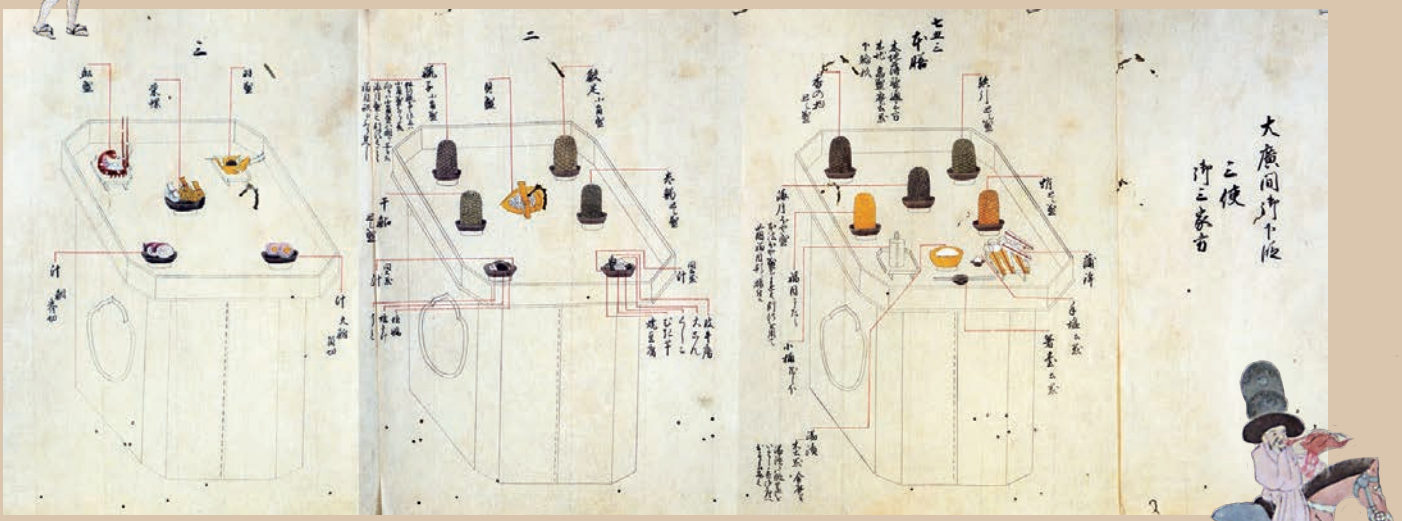
その時に江戸で詠まれた「また出たか 坊主びっくり 貂の皮」の落首が知られています。その後、天保7(1836)年に外様大名では異例の老中に任じられました。

本展を通して、江戸時代後期の幕藩体制の中で、幕吏として能力を発揮した安董の奮闘ぶりを想像し、歴史の一コマに触れていただければ幸いです。



口宣案　文化元(1804)年(館蔵)

対州道中記絵巻　文化8(1811)年(館蔵)



信使登城之節七五三料理盛付絵図(館蔵)

朝鮮通信使は、江戸時代に来日した外交使節団です。その回数は12回に及び、大船団を組んで日本各地に寄港し、400名以上の大行列が江戸まで旅をしました。

たつの市には、通信使が寄港した室津があります。加えて、最後の通信使を迎える副使に脇坂安董が任じられています。全12回にかかわったゆかりの地です。

対馬での聘礼は、徳川11代将軍家斉襲職(天明7・1787年)に対する慶賀でしたが、接待費負担の軽減等をはかるため文化元(1804)年に対馬での聘礼が決定しました。安董は副使として文化8年の聘礼をつとめました。

【問い合わせ・申込み先】たつの市立龍野歴史文化資料館